



城東だより

つなげ！城東魂
JOTO SPIRIT
～一生懸命がかったいい～

2025年
(令和7年)
9月30日
第6号

みんな主役！！～文化祭成功に向けて、全員が役割を果たしています～

2学期に入り1ヶ月が過ぎました。今、校内では来る10月10日（金）文化祭本番に向けて、本格的に練習が始まっています。

どの学年もステージ発表に向け、学年全ての生徒がキャスト（役者）や照明、音響、ＩＣＴ舞台装置製作・操作、舞台道具制作、壁画制作等、ひとり一役を担う役割を自己選択し、選択した役割を責任をもって果たしています。毎年感じることですが、城東中の皆さんからは、体育大会同様、どの学年からも「自分達の力で行事を成功させるんだ！」という強い気迫を感じます。本年度の研究テーマは「**学び続ける姿**」ですが、授業だけでなく文化祭準備からも、**自ら「追究し続ける姿」**を感じます。

1学年発表 9:20～10:00 「世界を救え！！MIMよ！！～夢を探して～」

2学年発表 10:10～11:00 「JOY STORY」

3学年発表 12:30～13:30 「未完成の僕達へ～夢への一歩、変わらぬ絆～」

全校合唱 13:40～13:50 「世界に一つだけの花」

また、今年度は全校合唱で、「世界に一つだけの花」を歌います。これは文化祭テーマ「**柔人十彩（じゅうにんといろ）～それぞれの個性（いろ）を認め、さらなる高みへ～**」から、生徒会が選曲したものです。全校合唱は、体育大会での色別縦割りを活かし、各色団長を中心に3年生のリーダーシップの下、日に日に歌声が美しく、大きく、まとまりを感じるようになってきています。

皆さんは全校合唱も、学年発表も、練習段階から「**柔人十彩**」をまさに体現してくれ、感謝しています。ありがとうございます。保護者の皆様、当日はぜひ、ご参観いただき、子どもたちが物怖じせず自分の**個性（いろ）**を發揮する姿をご覧ください。



広島県中学校視聴覚教育研究大会へ向け、生徒自身が学び続ける授業を追究しています！

本校は、10月29日（水）に、「**新たな時代を豊かに生きる力～学び続ける姿を目指した効果的なICTの活用**」を研究主題に掲げ、『広島県中学校視聴覚教育研究大会』を開催いたします。

そのため先生達は、夏季休業中も生徒が主体的・探究的に「**学び続ける**」ことのできる授業とはどのような姿か、教科を越えて研究を深めるとともに、2学期も広島県教育委員会、福山市教育委員会より指導助言をいただきながら、授業実践を続けています。

この授業改善の中で、「**ICTを学習者全員の真ん中に据え、ICTをツール（道具）として相互に情報を提供し合いながら、協働して学ぶスタイル**」の授業が一段と増えてきました。2学期、特に実感している変化は、学習を他人任せにする生徒が減ったことです。他者の意見を参考にしながらも、自分自身で学習を進めていくので、活発に意見交換をする場面と1人で集中して学習する場面とのメリハリがはっきりしているということです。場面によっては、「シーン」とした空間の中、1人ひとりが探究課題に黙々と没頭する姿が見られ、学習者として自力で「**学び続ける**」皆さんの姿に頼もしさを感じています。皆さんのが前向に「**学び続ける**」姿は本当にかっこいいです。

研究大会当日は先生方と一緒に、「**学び続ける**」姿 = 「城東魂」 = 「一生懸命がかっこいい！！」を、県内の先生方に伝えていきましょう。

左端 [英語ブロック別研究授業] 「中学生が英語を学ぶ意義を、教育委員会に提言する英文」を構想する授業
左中 [美術ブロック別研究授業] 地域特産商品のパッケージを構想してICT上で表現する授業



[ICTを活用した午後学活の生活改善] 右中 [9月5日作成の振り返り] →右端 [9月26日作成の振り返り]
*当初は見た目も味気なく、雑然としていた生徒自作の振り返りシートが、見栄えもよくなるとともに、振り返り内容も、来週、具体的に生活改善につながるものに深まってきました。

自立・自律を目指して！！～ICTを効果的に用いた午後学活の改善～

これまで午後学活では、①教科係からの授業反省、②6人班での話し合いを経て、③今日の振り返りを学級へ伝えていました。しかし、スタイルが明確な分、班での議論が他人任せになったり、毎日似たような振り返りになったりする現状が課題としてありました。

この課題を改善するために、2学期より授業だけでなく、**午後学活もICTを用いて**課題改善に取り組んでいます。具体的には、（月）～（木）までの振り返りをGoogleのスプレッドシートへ班員全員が打ち込み、（金）に今週の課題を、来週どう解決するのかを1枚のGoogleスライドで表現する取組です。

生徒一人一人がスプレッドシートへ打ち込みをしながら話し合いをするため、人任せにならず、また、ICTでの振り返りは他学級も閲覧できるため、**より良い生活改善の方法は学校全体で共有すること**を目指しています。

取組を始めて半月が経ちました。当初は、真っ白な画面に情報が列挙されただけの振り返りシートでしたが、取組が進むにつれて、レイアウトも色鮮やかで伝わり易く、内容も具体的で深いものになってきました。城東中の皆さんの**情報活用能力の高さと新たなことに果敢に挑戦できる心**は、改めてすごいなあと驚かされます。研究大会では授業でだけでなく、ICTを効果的に用いて生活改善をできる皆さんの姿が、きっと話題となることと思います。